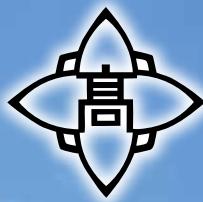




東陵

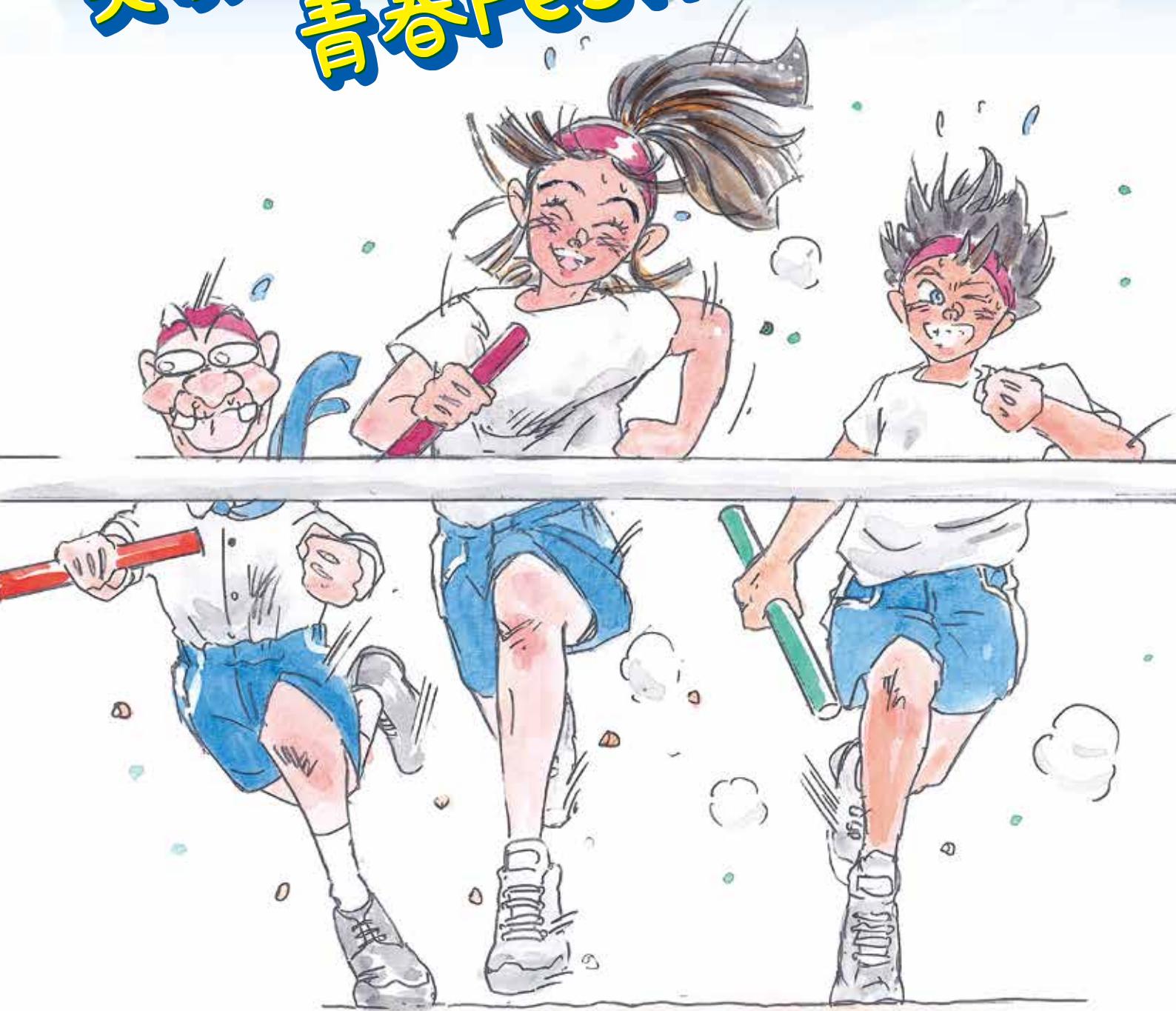


第26号

福岡県立嘉穂東高等学校同窓会報

発行／令和5年10月 飯塚市立岩1730の5 嘉穂東高等学校同窓会

笑顔全開！ 青春Festival





ごあいさつ

東陵26号の発刊によせて

嘉穂東高等学校同窓会 第9代会長

花田 正 (高校23回生)

インドが月の南極着陸に成功したというニュースを耳にしたとき、『地球上で文明の中心は西へ移動する』という言葉を思い起こした。この言葉を最初に聞いたのは、高校の世界史の授業だったと記憶している。中国・インド・メソポタミヤ文明から発して、エジプト、ギリシャ、ローマ、西ヨーロッパへと、地球上の文明の中心は西に移動してきた。その後、20世紀になると中心はアメリカになった。私が高校生だった50数年前の日本は、次に中心が日本に来るという勢いがあった。当時の世界史の先生は、「次は日本だ」と言い切っていた。しかし実際は、日本は中心になれずに西の中国へと移動していった。その中国も現在多くの課題を抱えて中心になれそうにない。そして、中国の西にあるのが世界一の人口をもったインドである。今年のG20の議長国でもある。

依然、中心は今もアメリカであるが、「西へ移動するという」法則は成立するであろうか。

日本としては、少子化と高齢化という大きな難問を抱えている。世界の中心にならずとも、平和で安心できる国家として続いて行って欲しいものである。

コロナが5類に移行され、今年は4月から、各支部の総会も通常通り盛大に行われました。そして、本部総会・懇親会も以前と同様の懇親会を再びという意味で『RE:START』というスローガンの基、高校50回当番生が頑張って準備してきました。最高の同窓会・懇親会を実施してくれると期待しております。人と人とのつながりにおいて、会食を共にし、旧交を温め、取り留めもない話をし合うということは大切なことがらだと思います。

『本会は会員協同して同窓としての親睦を深め、母校の発展に尽くし、併せて社会奉仕につとめることを目的とする。』と本校同窓会の目的を定めています。総会ならびに懇親会をはじめとして各地区や各回生での会員相

互の親睦を図る活動が行われています。また、母校への支援として奨学事業などの他、在校生や後輩たちへの有形無形の支援活動を実施しています。そして、同窓会の存在理由の要諦は、会員相互の絆にあると考えます。少しでも関心をもって母校のため後輩のためにそれぞれができる範囲で支援・協力をしていく個人的ネットワークこそが同窓会です。これを読まれている在校生の皆さんも、将来、同窓生としてネットワークに積極的に参加してください。

現在、同窓会名簿製作に取り掛かっています。本校同窓会は6年ごとに同窓会名簿を発刊しており、次回は、2025年秋になる予定です。個人情報の観点から、製作に反対の意見も一部ありましたか、同窓会会員の全体像を把握できる貴重な冊子であるということで、名簿製作に取り組んでいます。2年後の完成の折には、是非多くの同窓生に、同窓会名簿を購入してもらいたいと思っています。今まで一度も同窓会名簿を手にされたことのない方にこそ購入をお願いしたいです。亡くなられた方も含めて3万人以上の卒業生の名前が記載されている名簿です。

最後に、今回も無事、第26号東陵が発刊出来たことは、嬉しい限りです。編集等に携わられた広報部の皆さん、ありがとうございました。

同窓会会長として4年目になろうとしています。まだまだ至らない点も多々あろうかと存じますが、会員の皆様には引き続き、本校同窓会にご協力を願い申し上げますと共に、皆様の御多幸と御健勝をお祈り申し上げご挨拶いたします。



ごあいさつ

福岡県立嘉穂東高等学校 第37代校長
篠崎 博

2023年度嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校同窓会の開催を心よりお慶び申し上げます。

私は、前田直子前校長の定年退職に伴い、定期の人事異動で本校に着任いたしました篠崎博と申します。

この5月からようやく縮小してきた教育活動の全てを、通常の形に再開させておりますが、この数年のコロナ禍における教育活動の制限は、生徒はおろか我々教員から、行事での経験やその記憶を奪ってしまい、まさに手探りで一から作り直す作業を繰り返しているところです。

私は、本年度、コロナからの立ち上がりを生徒中心に進めたいという願いから、本年度の重点目標を「生徒を主語にした教育活動の展開」といたしました。大変恐縮ながら、当初は生徒を元気づけたい勢いだけで発想したものでございましたが、昭和24年に本校の校名が現在の嘉穂東高等学校と改称された際に、本校のシンボルである校章や校歌、応援歌は当時の生徒自身の手によって作られたという歴史を知り、今では、この目標こそ本校御卒業の先輩方が築き上げて来られた精神と一致するものであると確信するまでに至っています。

「生徒を主語に」～些細なことではございますが、文化祭や体育祭などの生徒会主催行事では、生徒会長が学校代表として登壇、挨拶し、部活動等の学校での

表彰式(本校では納め式と呼称しているようです)を、受賞の証である賞状やトロフィーを手に、その大会に出場した選手全員をステージに上げて、生徒全員でその活躍を祝う報告会の形態に変えるなど、小さな変革を重ねています。

加えて、昨年度から同窓会の御支援により、グローバルに活躍するマインドセット(心構え)とスキルセット(ノウハウ)を身に付ける人材育成プログラムを1年生で実施しており、本年度は2年生にも拡張して行っています。このように生徒が主体、行事の主人公となる取組が増えしていくことで、体育祭などでは確実にその成長の手ごたえを感じましたし、これからも生徒が変容できる小さな取組を積み重ね、それを大切にしていきたいと考えています。

まさに、本同窓会総会のテーマである『RE:START』で、母校の後輩たちがその一步を確実に踏み出しています。どうぞ、同窓会の諸先輩方にはこれからも温かく母校を見守っていただくために、同窓会の活動がますます発展しますよう心から祈念申し上げますとともに、引き続き、今後の母校の後輩たちの活躍に、熱い期待をお寄せいただきますようお願い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。





令和5年度 英語科 海外語学研修

英語科の行事の一つとして7月20日より8日間、英語科2年23名はオーストラリアのパースで海外語学研修に参加しました。滞在先ではパースの家庭でホームステイをしました。一人一家族であるため生徒達にとっては日本語がほぼ使えない環境です。それでも生徒達は自分の持っている英語のコミュニケーション力を発揮して楽しく過ごす事ができました。



▲交流したジョントンキン校にて

現地の高校に通って、オーストラリア人の生徒達と一緒に授業を受けたり、コアラやカンガルーを見に動物園に行ったり、ロッドネスト島でウォンバットと写真を撮ったりとたくさんの思い出を作ることができました。

この経験を生かして将来は海外との架け橋となってくれる国際感覚の豊かな日本人に成長してほしいです。

出場おめでとう！

2023
8/6(日)

吹奏楽部 県大会出場

今年度、吹奏楽部は3年生6名、2年生5名、1年生2名、計13名で活動しています。7月には34年ぶりに筑豊支部の代表として県大会出場を決めました。初めての大舞台に緊張と興奮の連続でしたが、部員一同、一音一音、心を込めて演奏することができました。

この夏の経験を糧に、今後もより良い演奏が届けられるよう引き続き頑張りたいと思います。応援よろしくお願ひいたします。





嘉穂東高校 母校の動き

令和5年度 教職員の異動

【退職】

校長 前田直子
教諭 大塚多恵子 R5 嘉穂東高等学校非常勤講師

【転出】

教頭 佐藤康枝 嘉穂高等学校へ(副校長)
教諭 福田亞希 筑紫高等学校へ
教諭 山浦冬子 須恵高等学校へ
教諭 野方文佳 嘉穂高等学校へ
教諭 大渕勝 隆 体育研究所へ(指導主事)
教諭 酒見智栄 直方高等学校へ
教諭(再) 京堂政美 福岡魁誠高等学校へ(再)
参考事務長 白濱克彦 嘉穂高等学校へ

【転入】

校長 篠崎博 高校教育課より(主任指導主事)
教頭 未次加奈 小倉高等学校より(主幹教諭)
教諭 松尾幸 西田川高等学校より
教諭 山本進 武藏台高等学校より
教諭 杉岡隆二 嘉穂高等学校より
教諭(再) 濱口和幸 ひびき高等学校より
事務長 坂本文彦 田川科学技術高等学校より

【新規採用】

教諭 重野明恵
教諭 井上史葉 市町村立学校から転任

卒業生進路実績 ※合格者延べ人数

第75回生(令和5年3月卒業)進路状況

○国公立大学	5名		
・九州工業大学	1名	・佐賀大学	1名
・山口大学	1名	・北九州市立大学	1名
・福岡女子大	1名		
○私立大学	188名		

《県内》177名

・福岡大学	52名	・九州産業大学	36名
・西南学院大学	18名	・福岡工業大学	12名
・九州共立大学	9名	・筑紫女子学園大学	7名
・九州女子大学	6名	・福岡女学園大学	5名
・令和健康科学大学	5名	・中村学園大学	5名
・純真学園大学	4名	・近畿大学産業理工学部	3名
・西日本工業大学	3名	・西南女学園大学	3名
・九州国際大学	2名	・久留米大学	2名
・福岡国際医療福祉大学	2名	・日本経済大学	1名

《県外》11名

・関西外国语大学	5名	・崇城大学	2名
・長崎外国语大学	1名	・長崎国際大学	1名
・同志社大学	1名	・創価大学	1名

○公務員最終合格者 35名

・海上保安官	3名	・福岡県職員	3名
・飯塚市職員	2名		
・国家公務員・裁判所・北九州消防・福岡県警			
・宮若市職員・小竹町職員・大分市職員		各1名	
・自衛官	14名	・一般曹候補生	6名

○短期大学 10名

○医療系専門学校 9名

○看護系専門学校 12名 (麻生看護大学8名 他)

○その他の専門学校 40名

○民間就職 6名

部活動実績報告【水泳部】

■令和5年度 全九州高等学校体育大会

第71回全九州高等学校水泳(競泳)競技大会

[会場:佐賀県]

塩田響己(3年)	100m自由形決勝	8位	200m自由形決勝	5位
大塚優花(3年)	50m自由形決勝	8位	100m自由形決勝	10位
岡村海秀(2年)	1500m自由形予選	22位		
秋枝叶(2年)	200mバタフライ予選	24位		
塩田響己(3年)	吉元凪翔(2年)	手島慶二(1年)	服部修也(3年)	
男子100m×4フリーリレー予選14位				

3年生にとっては最後の試合となった今大会。インターハイ出場を目指し、基準タイム突破に挑戦しました。残念ながらインターハイへの勝ち上がりはありませんでしたが最後までベストを尽くした良い内容のレースでした。応援ありがとうございました。今後は・2年生を中心とする新チーム体制になります。引き続き応援のほどよろしくお願いいいたします。



令和4年度 同窓会入会式

■2023年2月28日(火)

卒業式を翌日に控えた3年生(75回生)の同窓会入会式が行われました。花田同窓会長からは、「人生の本番はこれからであり、いつでも人は変わることが出来る、どうか頑張って生きてほしい」という励ましと、高校同窓会について、どの様に高校に関わっているのか、そしてこれから同窓会への参加についてのお話があり、その後、参加役員の紹介がありました。前田校長先生からは、全国の同窓生からの心のこもった御援助に対し感謝のお言葉がありました。最後に、新会員幹事の紹介と幹事長の3年生の河本君の入会の挨拶があり、同窓会入会式は終了しました。75回生が同窓会総会へ胸を張って参加してくれる事を願います。



同窓会 副会長 林田典子(高校31回生)

同窓会奨学金授与式

■2023年3月16日(木)

同窓会給付型奨学金授与式が、校長室にて行われました。同窓会からは、同窓会会長、副会長2名、広報部員1名で出席。校長先生をはじめ該当生徒の担任の先生や保護者の方に見守られている中、今年も3名の生徒に花田会長より直接奨学金が

手渡されました。

75回生の中から選ばれた3名の生徒たちは、教員、司書、公務員とそれぞれが人のために役立ちたい、人に寄り添った仕事を目指している生徒たちで、自分の夢の職業に就くために専門知識を学ぼうと大学へ進学します。今回の該当生徒の皆さんには、「このような機会を与えてくださったことに感謝いたします。同窓生としての誇りを持って頑張っていきたい」と力強く抱負を述べていました。

最後に花田会長より「半年後または1年後…皆さんの近況をはがきでも構わないで同窓会宛に知らせてほしい」とお願いしたところ、3名とも快諾してくれました。楽しいこと、辛いこと、困ったこと、嬉しいことなど、報告が楽しみです。

最後に、スクールソポーター基金が将来の夢の実現への一助になっていくことを皆さんにご紹介することで、スクールソポーターの輪が広がっていくことを切に願います。たくさんのご協力お待ちしております。

広報部 永井潤子(高校32回生)

同窓会支部だより

総会・懇親会・同期会



第18回 嘉女・嘉穂東会 inくまもと

■開催日: 2023年4月1日 (土)

■場 所: アークホテル熊本城前

3年ぶりに例年通りの形で、4月1日11時半より、アークホテル熊本城前「朝顔の間」にて、40名のご出席をいただき、開催することができました。本部より花田会長、ほか2名の役員の方、福岡支部より小川会長ほか、2名の役員の方にもご出席いただきましたことを、厚くお礼申し上げます。発足にご尽力いただいた3回生の戸田さん、岩崎さんがおいでくださったことは、大変嬉しいことでした。

恒例の熊本城城主くじは、8回生の矢野さんが見事引き当てられました。校歌では50回生の応援団森藤健文さんの力強いエールをいただいて、盛大に歌うことができました。ご出席は叶いませんでしたが、嘉女26回前田さんと電話を繋ぎ、電話口で校歌を歌っていただくことができました。歌詞を全て暗記しておられたこと、お声がとても張りがあったこと、今年97歳の矍鑠とした先輩を心から誇らしく思いました。

また来年も4月第一土曜日に、開催の予定あります。皆様どうぞ、熊本にお越しください。

代表 畠山 祐子(高校32回生)



第14回 関西支部総会・懇親会の報告

■開催日: 2023年4月15日 (土)

■場 所: 天満橋・大阪キャッスルホテル



昨年の秋には懇親会のみ開催し、会員31名、来賓4名の合計35名の参加となりました。久しぶりに顔を合わせたテーブルで充実した会になりました。

今回は総会も含め4年ぶりの開催です。組織の強化も考え、案内は名簿のほぼ全員(約246通)に「幹事からの手書き手紙」も入れ発送しました。結果として、全体としては会員48名、花田会長、4月就任早々の篠崎校長を含め来賓16名(当番48, 49, 50回生含む)の合計64名の参加で、コロナ前の水準になり役員・幹事はホッとした次第です。その中でも、昨年秋の懇親会に続いて新たに若い層の参加もあり大変盛り上がりました。

企画は「還暦・古希・卒寿の祝い」や、50回当番生からの「故郷スライド」、花田会長の「自家製ハチミツ」や故郷の懐かしいお菓子やお酒が当たる「福引き」などで大変賑わいました。

会員の「思い出の品・作品展」も3回目となり、友朋館建設当時の母校スケッチや、昭和28年の母校火災時の写真、書・陶芸と豊かな内容となりました。

最後は応援団出身の幹事50回生森藤君と8回生の八尋さんのリードで「逍遙歌」「校歌」斎唱、「フレフレ東!」の唱和で締めくくることが出来ました。5月と10月にハイキングも計画し、関西支部はますます頑張っていきます。皆様よろしくご支援ください。

※尚、役員改選で、あらたに2人の女性会員が役員に入っていました。

関西支部 支部長 長谷川 浩二(高校16回生)



同窓会支部だより

総会・懇親会・同期会

東京支部総会・懇親会

■開催日: 2023年6月3日(土)
■場 所: ホテルグランドアーク半蔵門

やっとコロナの長いトンネルを抜け、6月3日(土)に4年ぶりに東京支部総会・懇親会をホテルグランドアーク半蔵門で開催することが出来ました。

総会では、前年度の活動・決算報告、今年度の活動予定・予算案と、新役員人事案が審議され承認されました。

懇親会では、同窓会本部から花田正会長をはじめ本部役員の方々、飯塚市からは藤江美奈副市長、そして特別ゲストとして西藤(原田)典子先生(支部当番23回生の恩師)をお招きし、ご挨拶を給わりました。

これまで懇親会では様々なイベントを企画してきましたが、最近の目玉イベントとしては出身中学を同じくする者達が壇上に上がり、その校歌を伴奏に合わせ歌うイベントを行っています。参加者同士の新たな発見と出会いがあり、楽しい催しとなっています。

そして懇親会の終わりには、今年度本部当番50回生による飯塚本部同窓会のお知らせの後、応援団による力強いエールに続いて皆で校歌を大きく力強く合唱いたしました。

総会開催を決定したのが今年になってからであったため準備期間がとても短かったのですが、小山さんをはじめとする当番生(23回生)の皆さんの協力と頑張り、また飯塚からの48回生、49回生および50回生の参加で大変盛り上がった会になりました。ありがとうございました。

東京支部 支部長 伊藤 房憲(高校20回生)



第30回 福岡支部総会・懇親会

■開催日: 2023年7月2日(日) ■場 所: 八仙閣 本店

去る7月2日(日曜日)、第30回福岡支部同窓会は、晴天に恵まれる中で4年振りにしかも人数制限もなく終えることが出来ました。懇親会には、同窓会本部から花田会長、本校から篠崎校長、東京支部から伊藤支部長、熊本会から木村実行委員をはじめ多くのご来賓の方々にもお越しいただきました。

今回から新会場となった八仙閣本店では、総勢約120名の同窓生が集まって、久しぶりの再会に話が盛り上がり、校歌や逍遙歌を歌ったり、また恒例のどんたく総踊りでは皆がシャモジを持ち輪になって踊ったりの楽しい懇親会となりました。

総会では、4年分の決算と役員人事および本年度の事業計画、予算をご承認いただきました。続く総会講演会では、高校39回生で飯塚市の藤江美奈副市長から魅力溢れる夢のある飯塚市の現在・将来についてのお話を伺って、これまで以上に郷土愛が強まる思いでした。

また、今回の同窓会の運営に当たっては、コロナ禍により久しぶりであった上に、諸般の事情によるペテラン幹事の不参加もあって、新役員・幹事達は、手探りで準備を進めたのです。本当に疲れさまで

した。当番幹事の皆さんにも多大なるご協力をいただきありがとうございました。

ところで、今年は福岡支部設立30年という記念すべき年でもあります。我々役員・幹事一同は、設立時の原点に立って、今後ともわくわくするような魅力的な同窓会になるよう頑張って参ります。30周年の記念事業として現在、記念誌を作成中であり、来年の同窓会時に皆様にお渡しできるようにしたいと考えています。また、記念のイベントとして、去る10月22日、福岡市西区の能古島にフェリーで行き、プラスチックゴミ等海岸清掃で汗を流した後、バーベキューを楽しみました。咲き誇るコスモスに空と海が一体化して美しさも最高でした。

福岡支部は、今後ともみんなで力を合わせて「一人ひとりが出来る範囲の努力」で支部運営が出来る態勢で、更に40周年、50周年に向けて新たな第一歩を踏み出して参ります。

今後とも福岡支部にご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

福岡支部 支部長 小川 民夫(高校20回生)



令和5年度

創立記念式典 及び 記念講演会

江頭 猛さん(高校36回生)

2023年5月10日に
創立記念式典が開催されました。

創立記念式典ではまず花田同窓会長が、「記念式典の目的・狙いは、今日までの母校の存続・発展を祝うこと、同時に全国3万人以上の卒業生の母校に対する思いに誇りと自信を持ってほしい」と挨拶され、女学校から男女共学の東高校になった時のお話や、学区制の歴史を紹介されました。また90周年記念誌に掲載されている学校新聞記事から「昭和24年に校章の図案募集が行われ当時の生徒たちによって作られた校章であり、歴史・伝統が受け継がれている。生徒が主体的に活動する高校を存続し発展させていただきたい」とお話をされました。

続いて、篠崎校長が、記念講演会の講師がイラストを趣味にされていることに触れ、企業のロゴマークや学校の校章デザインには夢や期待、ストーリーがあり、「人生で大切なのはストーリーを作っていくこと」「本日の式典を通して皆さんのこれからの方に彩りが添えられることを期待します」と挨拶されました。

創立記念講演会の講師は、同窓会広報誌「東陵」の表紙イラストを約8年前からお願いしている高校36回生の江頭猛さんです。江頭さんは福岡県農業共済組合筑豊支所に勤務されており、以前は職場の広報誌の表紙イラストも描かれていました。大学時代は漫画研究会に所属し多くの作品を手掛けられ、若い頃は漫画家を目指して出版社に作品を持ち込んだこともあるそうです。

趣味は多彩で、二輪のフリー走行ライセンスを取得して西日本サーキットで走行、ボディビルでは2008年福岡県大会マスターズクラス3位、最近では花好きで自宅の庭にはバラなど多くの花を植えられて、ご近所の方も鑑賞に来られているとか。地域活動では消防団・自治



江頭 猛さん



会・敬老会・山笠・上三緒そば会など活躍されています。

就職後、自らの失敗もありクレームの嵐、心が折れて退職を考えたこともあるが、相談したぶどう農家の方から「自分は百姓に誇りをもっている。米・果物など国内の作物をしっかりと作って日本人の命を助けています。君の仕事は何か、そういう農家を災害や作物の病気が発生した時に助ける仕事では?誇りをもって働くかんか」とひどく叱責されたことで、「自分の仕事って何だろう、クレームもあるけど感謝されることもある、社会の役に立っているはず」と続ける決心をし、それから35年勤務してきたそうです。

「ぶどう農家の方との出会いがあって今の自分がある、出会いは人を変える、人だけでなく本との出会いでも、旅行でもよい、多くの人と会って研鑽を積んで目標に向かってください」とエールをいただきました。



江頭さん独特の「ほっこりするイラスト」は毎回、多くの方々から大変ご好評いただいております。これからもよろしくお願ひいたします。

広報部
伊藤 浩之(高校32回生)



花田同窓会長



篠崎校長

2022年同窓会総会・懇親会の報告

■開催日：2022年10月22日（土）
場所：のがみプレジデントホテル

新型コロナ感染症予防対策のため総会は2年ぶり、懇親会は実に3年ぶりの開催となりました。

総会においては2年間理事會で審議された議案が可決されました。

懇親会は校旗入場のあと、当番49回生の須藤実行委員長による開会宣言、花田同窓会会长、来賓の方々によるあいさつがありました。

今日は感染症予防対策のために延期になつた31回生・32回生、そして33回生合同の還暦祝がありました。ステージ上にて当番生からお祝いの真っ赤な花束が贈呈されました。

今年は「コロナ禍での開催といふこともあり懇親会は各学年2名までの制限で開催されました。が、アトラクションとして33回生の生バンド「RING SUND」の演奏、当番生の御神樂と楽しい時間を過ごすことができました。そして、受付の横のボードに貼つてある「心友」のカードを引き、その裏

の番号で当たるくじ引きがありました。

来年の当番生への引継ぎ式、当番生応援団のステージを終え校歌と吾が逍遙歌を全員で斉唱しました。最後に次年度当番生50回生、荻野実行委員長から「来年は通常の大同窓会のように開催する予定で準備に入りました。

今日は感染症予防対策のために延期になつた31回生・32回生の皆さんとの3年間の色々な思いが詰まつた素晴らしい、感動の同窓会懇親会でした。本当に疲れ様でした。ありがとうございました。ありがとうございました。

2022年当番、高校49回生の皆さんとの3年間の色々な思いが詰まつた素晴らしい、感動の同窓会懇親会でした。本当に疲れ様でした。ありがとうございました。





ごあいさつ

嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校
2023年度同窓会総会 実行委員会
実行委員長

荻野 充佳 (高校50回生)

新型コロナウイルスが5類へと移行し世の中が少しずつ平穏を取り戻しつつある状況ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

2020年度・2021年度は懇親会が中止となり、昨年度、規模を縮小し総会・懇親会が開催されました。その後50回生は「同窓会実行委員会」を組織し、「RE:START～新時代～」をテーマに掲げ第一歩を踏み出しました。

私たちはコロナ前のような同窓会を目指し、同窓会本部もそれを後押ししていただいたのですが、世の中は変わってしまったいました。

一番の壁は資金集めでした。

同窓会を開催するにあたり、協賛金や分担金を集めることは必須の問題です。しかしながら、コロナの影響で倒産されていましたり連絡がつかなくなってしまった企業も少なくありませんでした。中には厳しい状況を切実に語られる方もおられ私達は、これがコロナ明けの現実なんだと痛感しました。

それは50回生分担金集めも同じでした。物価高の影響やガソリン価格の高騰など、この状況下で同級生から分担金を集めるのは、本当に胸が苦しかったです。

そして私たちが考えついたことは、後世にこの苦労を残したくないという想いでした。今まで私たちの高校が100年以上も伝統を重ねてきたように、これからもこの伝統は続いていきます。決して絶やしてはいけない伝統であります。だからこそ、「RE:START」し「～新時代～」を築かなければいけないと。私たちが48回生や49回生・同窓会本部の皆様に支えられたように、51回生以降に新しい

時代のバトンを繋いでいかなければなりません。

実行委員長として活動してきた1年間でしたが、迷惑ばかりかけてしまい、同期の役員には本当に感謝しています。

本日の同窓会に向けて、定例会の会議場所を快く提供していただいた先輩。定例会の度に顔を出していただき、アドバイスと温かい応援をいただいた先輩。協賛金集めの際に、事前に連絡をしていただいた先輩。色々な場面で先輩方の支援を受けてまいりました。そしてこのような状況の中、広告・協賛いただきました皆様のおかげで、同窓会を無事に迎えることができました。ありがとうございます。

最後に、皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、50回生代表の挨拶とさせていただきます。



2024年度 総会・懇親会のお知らせ

当番期:高校51回生



2024年度
同窓会総会
実行委員長
大庭 由紀
(旧姓:深町)
高校51回生

2024.10.26 土

総会 12:00~ 懇親会 13:00~

会場:のがみプレジデントホテル(予定)

スローガン:「東志(ひむかし)~希望の集いここにあり~」

同窓会会員の皆様、当日は私たち51回生がお待ちしております。

皆様と楽しい時間が過ごせるように準備を頑張ってまいりますので、応援よろしくお願ひいたします。

本部役員 (R4. 定時総会終結日~R6. 定時総会終結日)

会長	花田 正 (高23)
副会長	大塚 修一 (高19)
総務部長	原田 敏規 (高23)
財務部長	近藤 哲司 (高31)
広報部長	林田 典子 (高31)
企画部長	坂井 美智恵 (高32)
監事	有江 俊哉 (高38)
監事	廣瀬 千鶴枝 (高30)
監事	久保井 英樹 (高44)
監事	花村 憲次 (高23)
監事	須堺 勇人 (高24)

東京支部役員 (R5.4~)

支部長	伊藤 房憲 (高20)
副支部長(渉外)	伊井 手せつ子 (高17)
副支部長/事務局	田原 親志 (高20)
副支部長/広報・事務局補佐	柴田 芳彰 (高22)
事務局員/会計	山村 夕紀子 (高20)
会計監査	豊田 俊文 (高18)
会計監査	鍛治 礼子 (高22)

福岡支部役員 (R2.4~)

支部長	小川 夫 (高20)
副支部長	矢野 代 (高8)
副支部長	岩守 (高19)
事務局長	野見山 豪 (高24)
事務局次長	阿部 清子 (高24)
事務局員	宮原 令子 (高47)
広報局長	中原 介子 (高35)
広報局次長	須藤 武子 (高43)
広報局員	戸田 真治 (高46)
会計	江川 徹 (高46)
会計	入淀 裕章 (高21)
幹事長	野見山 雄治 (高21)
副幹事長	本武 典 (高25)
会計監査	里美 輝 (高38)
会計監査	高尾 弘和 (高22)

関西支部役員 (R5.4~)

支部長	長谷川 浩二 (高16)
副支部長	伊藤 日出雄 (高21)
副支部長	天野 律子 (高23)
事務局長	花村 二郎 (高26)
会計	平田 和洋 (高27)
会計監査	富田 久美子 (高24)
顧問	中良 一 (高8)

本部だより

■同窓会当番説明会

2023年2月14日(火)、来年当番を迎える51回生(平成11年卒)、再来年当番を迎える52回生(平成12年卒)の同窓会委員を迎え、当番の流れ(実行委員会準備から解散までの概要・組織図の例)を説明いたしました。

早めに声掛けすることにより、10月の総会・懇親会で「次期当番生」としての準備が少しでもスムーズにいければと思います。当番生の皆さんよろしくお願いします。

■年会費について

平成27年より正会員の会費として、同窓会会員の皆様から年会費3,000円をご納入いただく事が決定し毎年、趣意書と振込用紙を封書にて会員の皆様に発送させていただいております。現在、母校では生徒数が減少し準会員の会費収入は以前と比べて減少しております。同窓会本部として学校への物品購入にも支援を行い、基金積立金やクラブ後援会にも毎年、定額を繰り入れしております。

同窓会のさらなる充実と財政基盤の確立、母校の発展のため、年会費納入につきまして皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。



編集後記

コロナの5類への移行を受け、2023年の同窓会は懇親会を含めて、ようやく4年ぶりに規制のない形での開催となりました。20、21と2年続けて懇親会が中止、昨年は人数制限の中での開催でした。

当番生は、以前のような賑わいのある同窓会を取り戻そうと、懸命に頑張ってきましたが、アフターコロナの社会経済情勢の変化等もあり、予期せぬ課題に直面するなど、これまで以上に苦労が多かったようです。

それだけに、本日こうして大勢の皆様をお迎えすることができ感慨もひとしおだと思います。

もちろん、同窓生の皆様の変わらぬご支援とご協力が、大きな後押しとなったことは言うまでもありません。改めまして、心よりお礼申し上げます。

広報部は今後も、母校・同窓生・地元の情報などを、「東陵」「東陵・特別版」に加え、同窓会の公式ホームページの中で発信してまいります。

卒業生のご活躍や同期会の報告、恩師の近況など皆様からの様々な情報をお待ちしております。

広報部



飯塚納涼花火大会

■2023年8月1日(火)

大正11年に第1回が行われ、長い歴史を持つ飯塚納涼花火大会は、毎年10万人が訪れる飯塚市の夏の風物詩です。コロナ禍のため令和元年度を最後に、中止となっていましたが、今年は4年ぶりに開催され第99回目を迎えました。

小学生3名の子ども達による点灯式で始まり、ナイアガラの滝をはじめ、打ち上げ花火約6,000発、早打ち11台、大規模な仕掛け花火8台が夜空に打ち上げられ、観客10万人、会場来場者数5万人と、会場周辺には露店がたくさん並んで賑わいをみせる筑豊の一大イベントとなりました。

来年はいよいよ第100回目となります。

広報部 杉村 美穂(高校41回生)

■同窓会公式HPについて

役員会や理事会の案内、理事会議事録、同窓会活動の報告、学校行事の紹介、卒業生の話題、各支部総会の報告、創立百周年・百十周年記念の時の情報、刊行物の案内など、母校の情報を満載しております。また、スクールサポーターとしての寄付金(1口2,000円)を5口以上ご協力いただいた企業・個人の方はHP画面の下のバナー部分で紹介させていただくことが可能となっております。(右記参照)
 ●会員の皆様の住所等変更については、ホームページ内のお問い合わせページからも受け付けております。どうぞご利用ください。



同窓会公式ホームページでは、同窓生の皆様からの情報をお待ちしております。

●同窓会公式ホームページアドレスは <https://kahohigashi-doso.net> です。

嘉穂東高校同窓会



本当に住みやすい街大賞2023 in福岡で「新飯塚エリア」が第3位に。

5月30日、福岡市で開催された「ARUHI presents 本当に住みやすい街大賞2023 in福岡」で「新飯塚」が第3位に選ばれました。授賞式では片峯市長が「大変嬉しいです。いただきました評価を励みに、ますますいい街にできるよう頑張っていきたいと思います。」とコメントしました。

【評価ポイント】実際に住んでいる方のデータと不動産の専門家の皆様の審査により選定されました。●まちの発展性●住環境●交通の利便性●コストパフォーマンス●教育・文化環境とともに、●医療や商業の充実が高く評価されました。

★スパシーモール新飯塚や商店街などのショッピングスポット、地域医療支援病院の飯塚病院や飯塚市役所本庁舎が駅から徒歩15分圏内に集結★映画館や約100の専門店が入居する、ゆめタウン飯塚が開業、花見の名所でもある勝盛公園など自然環境も豊か★福岡エリアへも通勤圏内でありながら、2LDKの新築マンションが2,000万円代前半から購入可能な物件もあり、コストパフォーマンスが高い

【ランキングTOP10】

- 1位 千早
- 2位 博多南
- 3位 新飯塚
- 4位 西鉄平尾
- 5位 西鉄久留米
- 6位 糸島高校前
- 7位 水城
- 8位 野芥
- 9位 須恵中央
- 10位 茶山



スクールサポーター募集について

常時
受付中!

「嘉穂東高校同窓会奨学金」制度が創設され毎年数名の生徒に授与しております。さらに1名でも多くの生徒への授与を目的として、「スクールサポーター」というかたちで、嘉穂東高校同窓会への寄付金を受け付けております。1口2,000円となっており、5口以上の企業・団体・個人の方は、ご希望により同窓会ホームページ内のバナーに掲載・紹介させていただきます。下記の郵便振替にてお申込みください。

◎郵便振替:新飯塚駅前郵便局 01790-8-142749「福岡県立嘉穂東高等学校同窓会」

◎スクールサポーターについてのお問い合わせは、norikohayashida8@gmail.com(担当:林田)まで

スクールサポーターのご紹介

■秋好尚美(高40回生) ■アービックホームズ(高31回生) ■飯塚信用金庫(卒業生多数) ■株飯塚花市場(高32回生) ■井上洋服店(高24回生) ■今心(高32回生) ■筑豊情報マガジンWING(高51回生) ■エース・デンタル(高30回生) ■EnishiCM Technology(高30回生) ■大塚修一(高19回生) ■榎本多賀子(高30回生) ■大塚石材株式会社(高32回生) ■OKINAWAKISEKIHOUSE EAST&WEST(高30回生) ■菊オートテクノド(高46回生) ■鹿子嶋鯉佳(高30回生) ■社会福祉法人 嘉穂福祉会 障害者支援施設 三愛園(高38回生) ■クボイ(高44回生) ■医療法人康和会アイ歯科医院(高17回生) ■佐野医院(高24回生) ■さんぐん ■徳昌和運輸(高31回生) ■社会福祉法人清知会なつき保育園(高32回生) ■武本玲子(30回生) ■玉置(卒業生多数) ■ジーンズショップナカムラ(高31回生) ■ナカジマ建設(高44回生) ■中嶋プロパン瓦斯(高35回生) ■西田建設(高39回生) ■ニッパー(嘉29回生) ■ネクストジェネレーション(高41回生) ■(株)のがみのがみの綜合グループ(卒業生多数) ■バストス(高30回生) ■花田正(高23回生) ■原田敏規(高23回生) ■廣瀬千鶴枝(高30回生) ■フェーズワンジャパン(高30回生) ■菊浦ジール(高31回生) ■マクリーーうめはうす(高24回生) ■松尾等(高32回生) ■松本益美(高12回生) ■マルイチ商会(高31回生) ■小料理屋 三日月(高41回生) ■三橋裕子(高31回生) ■村上ホーム(株)(高24回生) ■吉岡スタジオ(高17回生) ■ライフパートナー住宅型有料老人ホームはなみずき(高28回生) ■楽天生命保険(株)代理店/佐藤伸一郎(高28回生) ■リースキン・サトー(高30回生)

